

④新規用途開拓による地域農林水産物の需要拡大、ブランド向上

ダイコンの素材を活かした業務用食品素材の開発及び製造・販売

JAS有機認証のダイコンを用いて、加工・業務用向けにダイコンの色や風味等をそのまま残した加工食品用素材を開発し、製造販売を行う。

連携体

農林漁業者 **農業生産法人(有)みむら楽農 (農業)**

加工業務用に向くダイコンの品種選定と肥培管理を行い、加工処理に適した新たな出荷基準での出荷を行う。

中小企業者

(株)児藤商店 (食料品製造業)

ダイコンの業務用食品素材を開発・製造し、食品加工事業者や業務用食材卸売事業者等に販売する。

連携参加者

(有)エヌ・エヌ・エフ(技術サービス業)、園川農園(農業)

(有)エヌ・エヌ・エフは商品開発や製造、販路開拓において支援を、園川農園はダイコンの生産を支援する。

サポート機関等

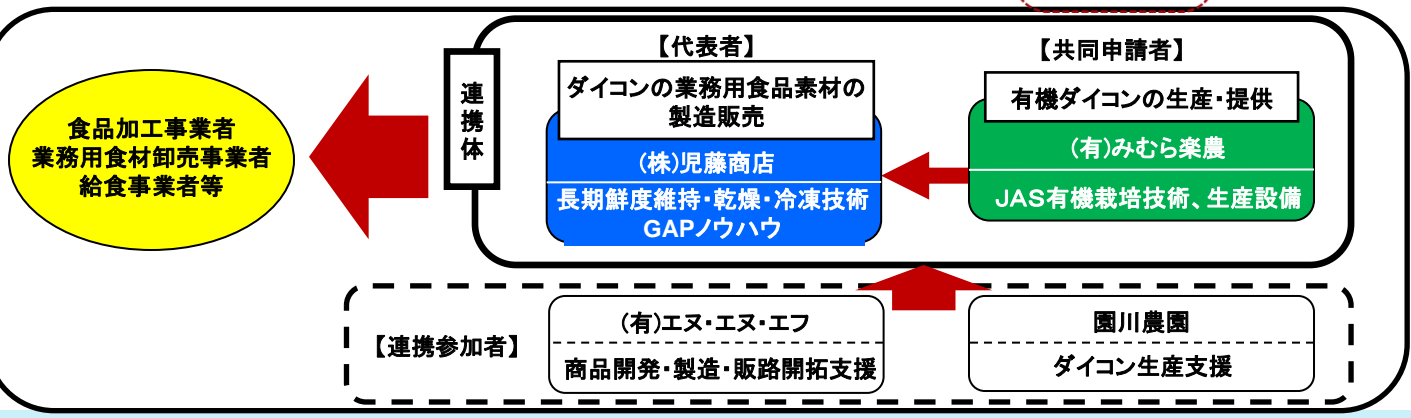
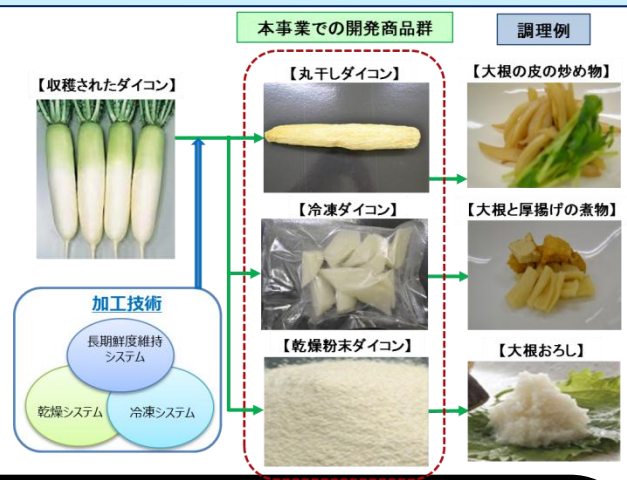
熊本県中小企業団体中央会、(独)中小企業基盤整備機構 九州本部

連携の経緯

(株)児藤商店がこれまで研究してきた農産物の長期鮮度維持や乾燥などの技術により(有)みむら楽農が生産するJAS有機認証のダイコンを加工することで、ダイコンの付加価値をより高め、ダイコンの新たな需要を喚起することがこれからの農業の方向性の一つであると判断し、事業を開始することとなった。

連携に当たっての課題や工夫等

(有)みむら楽農は、加工に向くダイコンの品種選定と肥培管理によりJAS有機認証ダイコンを生産する。(株)児藤商店は新たな加工技術を活用し、食品加工事業者や業務用食材卸売事業者等とタイアップしながら丸干しダイコンや冷凍ダイコン、乾燥粉末ダイコンを開発し、製造・販売を行う。



連携による効果

農林漁業者 5年で3,100万円の売上高増加、遊休農地と出荷規格外品の有効活用

新規用途向けの供給により作付面積の拡大や高付加価値化が図られ、農業経営の安定に貢献すると期待される。

中小企業者

5年で1億5,000万円の売上高増加、新規需要の開拓、11名の雇用創出

長期鮮度維持や乾燥等の技術利用により生産されるJAS有機ダイコンの食品素材は新規需要が期待される。

代表企業等の連絡先

企業等名：株式会社児藤商店	所在地：熊本県熊本市南区流通団地1-51
T E L：096-377-2333	F A X：096-378-7676
E - m a i l：y-kkoto@waltz.ocn.ne.jp	ホ - ム ペ - ヲ - シ：http://www.s-inet.com/kotou